



## 【核と原発～被ばくの世紀に生きて】

チェルノブイリに次ぐ原発事故・・・東電福島第一原発事故の汚染被ばく地域となって6年

この6年間の常総生協での放射能測定件数

# 1万2,657件

みんなの力をあわせて食と環境を守るためによく頑張りました！

## 事故原発周縁部、半径200km圏内の内外被ばくの貴重なデータとして「とりまとめ」作業を！

福島原発事故から6年。私たちが汚染と被ばく地に。

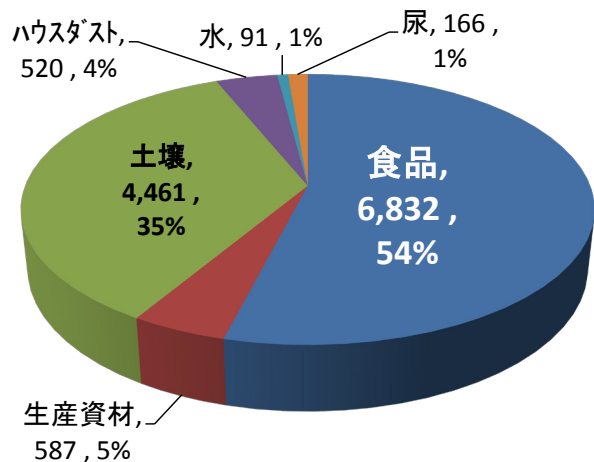
「この地で食と環境の汚染状況を調べながら、共に生きてゆけるか」、「食べものからの内部被ばくは大丈夫か?」、沈着してしまった環境からの外部被ばくは?」・・・歴史事件に直面して私たちの大きな試練でした。

2011年3月20日の母乳検査からはじまって、6年間で1万2,657件の放射能測定が生協で行われました。

3/15日、職員チームで6年間の検査のまとめのディスカッションが行われました。

そこでは、この検査データは生産者、組合員、地域の市民が検体を採取して持ち寄り、職員が測定してゆくという食と環境を調べいのちを守る協同の活動の結晶であること。そして日本の中では検査数としても多く、半径200km圏内の食と環境の汚染データとして貴重な事実データとなるはずなので、「まとめと分析・評価」作業を組合としてプロジェ

放射能検査数(常総生協)



クトを作って取り組んで欲しい。職員チームとして理事会に正式に提案し、また脱原発とくらし見直し委員会での討議なども頂いて「2017年度活動方針」として総代会で検討してもらおうということとなりました。

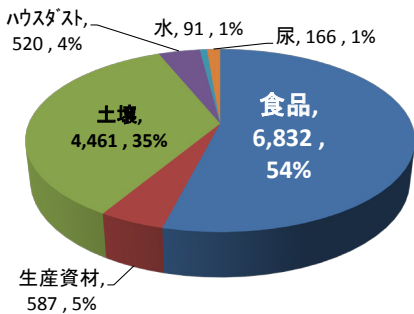
今週のニュースでは6年間の放射能検査概要を報告し、組合員、生産者の討議の材料を提供いたします。

### 【2017年3月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
3. 23 (木) プレスオールターナティブ交流会	3. 20 (月) さよなら原発全国集会 in 代々木
3. 24 (金) 印西市植物防疫協会へ農薬散布中止要請	4. 1 (土) 午前「甲状腺がん放射能汚染」清水先生講演会 (関東子ども健康調査支援基金主催) 生協
3. 25 (土) 歴史を学ぼうー未来のために 都留孝子先生	4. 1 (土) 午後「原発再稼働と大地震」広瀬隆講演会 (脱原発ネットワーク茨城主催) 土浦市民会館
3. 29 (水) 第11回理事会	4. 15 (土) 甲状腺検診 (東葛検診 / 我孫子市) 基金
4. 4 (火) 午前 山本先生「憲法講座」	
4. 4 (火) 午後 脱原発とくらし見直し委員会 (63回)	

## 生協での放射能検査累計と年次推移

放射能検査数 2011.3～2017.3累計(常総生協)

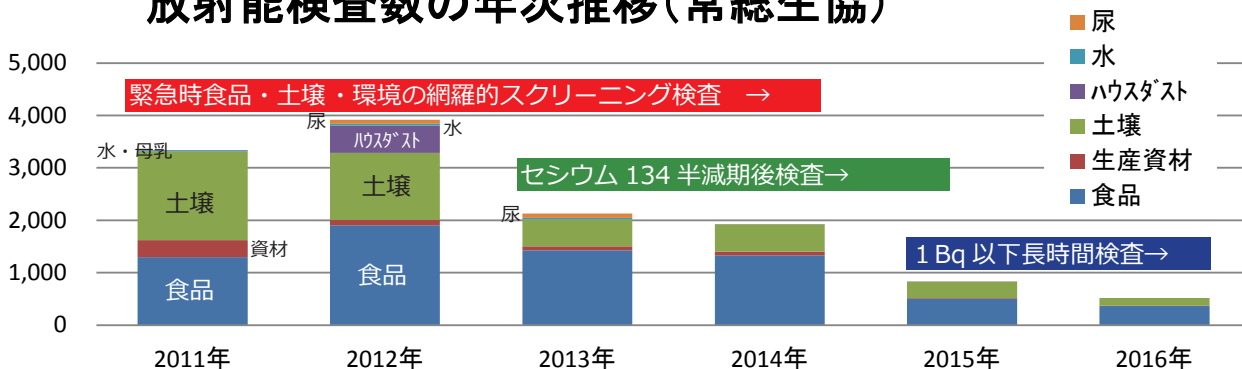


2014年までの4年間は組合員に提供する食品をはじめに、その生産資材、田畑の土壌、地域の土壌、ハウスダストから尿まで、とにかくすべてスクリーニング検査にかけるところを重点にしました。

はじめの1か月は母乳からはじまり、牛乳、ほうれん草などに沈着したヨウ素&セシウムを検出。2011は産地の田畑の土壌調査、2012年は地域の市民と協力して地域の土壌汚染を調査。家屋に入った放射能検査として掃除機によるハウスダスト検査も。

2015年以後は、スクリーニング方針から、対象を絞り込んで1ベクレル以下の長時間検出に重点を移行したことから検査数は減少しました。  
※ 2016.3.21～2017.2.28の検査データを元に作成(2017年3月度の検査データは反映していません)

## 放射能検査数の年次推移(常総生協)



※生産資材：堆肥となる落葉や米ぬか・粉殻・木材チップ、菌茸類の菌床など

## 内部被ばくを心配した主食の「お米」の汚染は0.5ベクレル/kg以下のレベル

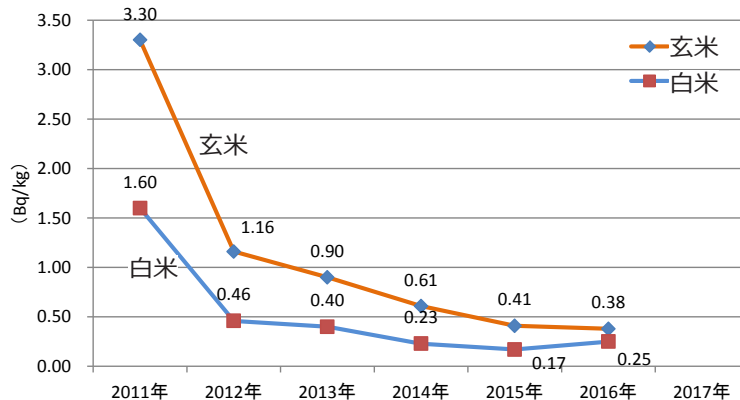
1986年チェルノブイリ原発事故では、現地の牧場汚染からミルクへ、主食の小麦・ジャガイモの汚染ルートから内部被ばく。土壌汚染による外部被ばくもすさまじかった。プルームが通過して汚染されたイタリア産小麦原料のCOスパゲッティーからもセシウム検出(当時常総生協のスパゲッティー原料小麦はカナダ産だったため汚染を免れた)。

日本で起きた放射能汚染では、初期のヨウ素吸入被ばくバイオアッセ(母乳・尿)からはじまって、初年度の作物への直接接触降下汚染、土壌沈着後は経根吸収による作物の汚染による内部被ばくが心配されました。

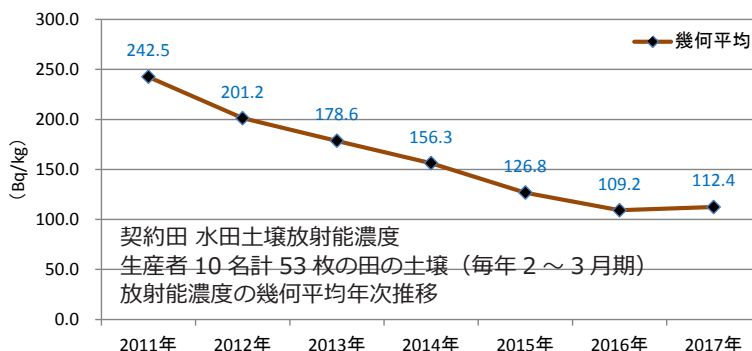
日本人の主食で毎日たくさん食べる「コメ」の汚染状況は、初年度から水田土壌の汚染状況とワンセットで集中的に調べてきました。生協のお米の産地である常総市のめぐみちゃんコシヒカリのセシウム濃度は翌2012年から低減し、現在では0.5ベクレル/kg以下の汚染レベルで推移しています(右グラフ上)。

食が生まれる田畑の汚染レベル(茨城県南部)は初年度の250～800ベクレル/kgから、現在100ベクレル/kg前後で推移しており、これ以上の低減は時間がかかると思われますが、心配していた上流から下流域への「流域集積」はなさそうです。なお、関西以西の土壌は現在5ベクレル/kg前後です(チェルノブイリ原発事故による汚染)。

茨城常総市産(めぐみちゃん)玄米と白米の放射能濃度推移(最高値)



茨城県常総市めぐみちゃん契約田・水田土壌の放射能濃度推移



## 放射能検査 2016 年度のまとめと 2017 年度検査方針（案）事務局

### 【2016 年度の検査まとめ】 昨年の組合方針（総代会決定事項）に対する報告

1. 食品の放射能検査については検出限界 1Bq/kg 以下を標準とし、ターゲットを絞って順次検査を実施します。  
2016 年度実施 1 ベクレル以下の精密検査は 61 検体を実施しました。
2. 放射能汚染により供給を断念していた商品の供給再開に向けた調査研究を生産者と共に進めます。（福島県相馬松川浦の青のり、地元・つくば飯泉さんの干しいたけ etc）  
福島相馬松川浦の「青のり」は再開の判断に至っていません。生のりの状態で放射能不検出という状況にありつつも、産地漁協の判断としてまだ生産再開に至っておらず（出荷自粛）、生産者久田さんもその対応にあわせているという状況です。  
つくば・飯泉さんの「しいたけ」は生の段階で 20bq/kg 以下の検出で「生しいたけ」の供給は再開したものの、「干しいたけ」用には使えないという判断です。
3. いわき市民放射能測定室「たらちね」と共同し、ストロンチウム 90 およびトリチウムによる食品汚染（主に水産物）の調査を進めます。  
検査が順調に進んだ場合のおおよその予定ではありますが下記のようになっています。
  - ・いわし（身）→今年 2017 年 9 月頃
  - ・原藻わかめ →今年 2017 年 5 月頃（2016 年 1 月末に依頼したもの）
 測定時期ですが、ストロンチウム 90 の検査は 1 年～1 年半ほど時間がかかる予定です。
4. 主要穀物（米、小麦、大豆）については、検出限界 0.2Bq/kg 以下での精密検査を引き続き実施します。  
米、大豆については上記水準での精密検査を実施しました。
5. 生産圃場の土壌定期検査は 2021 年まで継続。  
圃場土壌定期定点検査は引き続き実施しています。提出のない生産者がいますので再要請します。
6. 生産者・組合員が食品の放射能汚染の現状について、共に考え意見交換を行う検討会の開催を提案します。  
意見交換の場を設定することが出来ず開催できませんでした。

### 【2017 年度検査方針（事務局案）】 組合員・生産者の検討をお願いします！

これまでの検査データの蓄積で、注意すべき食品もだいが絞られました。農産品では、一部の根菜類、大豆（乾）、きのこ類、山菜、たけのこなど。水産品はいわゆる底物（海底に生息する魚）、淡水魚など。また海藻類や骨ごと食べる魚についてはストロンチウムの検査も必要と考えます。

1. 食品の放射能検査については検出限界 1Bq/kg 以下を標準とし、ターゲットを絞って順次検査を実施します。
2. 主要穀物（米、小麦、大豆）については、検出限界 0.2Bq/kg 以下での精密検査を引き続き実施します。
3. 生産圃場の土壌定期検査は 2021 年まで継続します。地域の土壌調査、スポット調査などは脱原発とくらし見直し委員会等と連携します。
4. 引き続き注意すべき食品（菌茸、たけのこ、山菜など）はスクリーニングを実施します。また、汚染水問題が心配される水産品については、ストロンチウムの検査をポイントを絞って実施します。  
ストロンチウム検査については時間と経費がかかることから食する前に判断できる情報を提供できない難点があります。「たらちね」への依頼と並行してもうひとつの検査機関（新潟県）にも検査依頼したいと考えます。政府機関で行われているストロンチウム検査結果も提供してゆくこととします。
5. 過去 6 年間の検査データベースについて、「まとめと評価」作業を開始することを提案します。

事務局（職員）だけでは体制が困難なため、理事会・総代会での方針討議を求めます。

事務局案としては担当理事、脱原発とくらし見直し委員会委員、職員、市民団体に、大学の先生または研究機関研究員を顧問に迎えて「まとめ・評価プロジェクト」を結成し、1 年をかけてまとめと評価を行うことを提案します（要予算措置）。

## 3/7 第62回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2017年3月7日(火) 常総生協本部組合員室

13時半～16時 13人参加。

### 4/1「広瀬隆講演会」協賛

4/1(土) 13:30～土浦市民会館小ホールで開催される講演会に、生協と共に委員会が協賛しています。入場料は1,000円です。お問い合わせは生協まで。

### チーム活動報告

#### ○市町村のセシウム測定データ収集

冬場のせいか各自治体とも検査数が減っています。事故当初から正しい情報を発信している岡山博先生のお話会(結城市)を聞いてきました。

#### ○DVD貸出

年度末の関係で、まとめた感想の公表が遅れています。保存版も発表します。寄付もたくさんいただきました。ありがとうございました。

#### ○児玉先生の著作

6月に生協で講演会を企画しています。具体的に生活に役立つお話を予定しています。

#### ○土壌調査

土壌採取の方法をビデオで撮影して採取方法をみんなで共有します。委員会の日は雨だったため別日程で撮影作業をします。土壌調査に協力いただける方を募集していきます。

★次回は4/4(火)13時半～16時(生協本部)の予定です。

どなたでも自由に参加できます。関心のある方はお気軽にお越しください。

## みんなのせっけんコラム (理事会せっけん普及チーム)

みんなの

# せっけんコラム

組合員の皆さん、こんにちは。理事の戸井田正子、佐藤登志子、佐藤理絵、監事の石川裕子です。私たちは「せっけんを広めよう！」を合い言葉に昨年秋より活動していますが、なんとこの度、せっけんのコラムを書かせていただくことになりました！月に1回こうして載りますのでお楽しみに♪

あなたはいま、せっけんを使っていますか？それとも合成洗剤ですか？なぜ、そうしていますか？「せっけんのここがいい！」と断言しちゃう人もいれば、なんとなくくんだり、せっけんの使い方にお悩みの方もいるかもしれません。

このコラムでは、「せっけんについて学び合おう！」をモットーに、私たち4人だけでなく皆さんと一緒に、せっけんについて知恵を寄せ合っていきたいと思っています。新しい発見や「こんな風に使うといいみたい！」などなど…私たちの“せっけんライフのもと”になるコラムになりますように(\*^^\*)

次回からは昨年のせっけん工場見学(太陽油脂さん)で学んだことや使い方のコツなどをお知らせしていく他「みんなでサンプルを使ってみよう☆企画」など予定しています。さらには紙面を飛び出し、皆さんとお顔を合わせて「せっけんおしゃべり会」もいいなあ…な～んてワクワクしながら考えているところです。

コラムを書くことはもちろん、せっけんの知識もまだまだの私たちですが、皆さんと一緒に楽しく学べるコラムを目指しますので、よろしくをお願いします。(担当 いしかわ@柏市)

★このコラムに合わせて組合員のやまがみあやのさんがマスコットを描いて下さいました

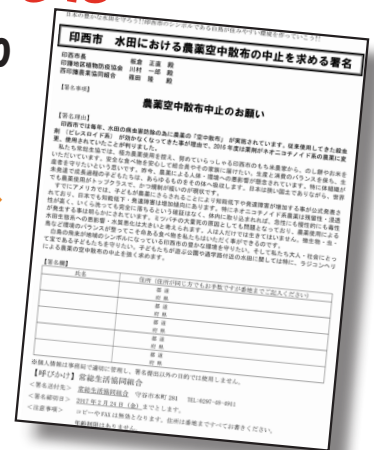


印西市空中散布中止を求める署名協力ありがとうございました。

約 2,000 筆の署名の協力がありました！！

2月から署名協力を呼びかけ、2/24 締切りの約 4 週間で 2,000 人の署名の協力がありました。ご協力ありがとうございました。

3月24日 JA西印旛「印西市植物防疫協会」へ  
みんなの想いと声を届けてきます！！



◆◆地域の子どもたちと環境を守るために◆◆

昨年末、荒井さんが空中散布の「除外申請」をうっかりしたことから、お餅を供給する段階になって農薬がかかっていることが判明しました。しかも従来の農薬の効き目がなくなってきたという理由で昨年の空中散布に初めてネオニコチノイド系農薬が使われたことが生協の調査で判明し、その旨を組合員のみなさんにお知らせしてのお餅の供給となりました。



今年使用する薬剤はネオニコチノイド系農薬は使用しないことが分かりましたが、空中散布する時間帯が早朝や夕方という事が多いため、通学路を通る子どもたちへの身体への影響や、自然環境への影響への懸念もあるので、中止を求める消費者の声を届けていき、地域を変える動きをとっていきます。

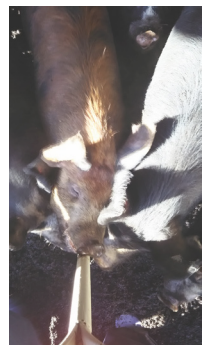
生産者出向職員イハラによる「ぶーぶー日記」2017.3.3 (金) 更新

皆さん、こんにちは！  
先週岩瀬さんの豚肉を注文された方々につきましては、おそらくもうご自宅に届いていると思います♪  
本格的に再開した岩瀬さんの豚肉のお味はいかがでしたでしょうか？  
これからも卓子さん達と一緒に、豚を大切に育てていきますので応援よろしく願いいたします！！



さて、本日は私が行っている最後の作業を紹介したいと思います。繰り返しと言って、敷料と糞尿をかくはんし、発酵させることで豚たちにとって暖かい寝床を作る作業を行っています。ではフォークを持って、いざ！出陣！！

(右の写真) 部屋に入った途端、豚たちが一斉に寄ってきてじゃれてきます(汗) 他の牧場だとこの様に寄ってこないとのこと。それだけ愛情を注いでいる証ですね♪ ただ、ここまですると作業が出来ません(涙) ぶーちゃん達、こっちは遊びじゃないんだよ・・・



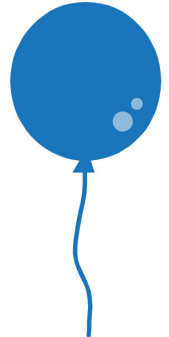
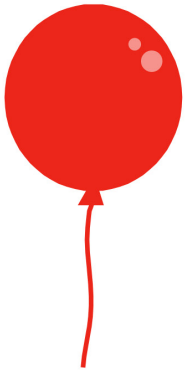
実際に繰り返しを行うも、これがまた中々難しい・・・まだ、繰り返し作業をあまり行ったことがないため、繰り返しではなく、掘り返しになってしまっています(涙) 理屈では分かるのですが、どうもうまく出来ません。只々修行あるのみ！



←こちらは牧場に 15 頭しかいない白豚です。岩瀬牧場は主に黒豚を育てているため、白豚の周りは黒豚だらけ！そういった環境の中にいる為か、最近白豚達の中で顔を真っ黒に化粧するのが流行っています。果たして全身を真っ黒に化粧するのは私にも分かりません・・・。周りに染まりたいのかな(?)

# 第7回 じょうそう朝市 & フリーマーケット 4/1 (土) 9:00~12:00

荒天  
中止



**会場** 常総生協本部 1F 広場  
0297-48-4911  
<http://www.coop-joso.jp/>

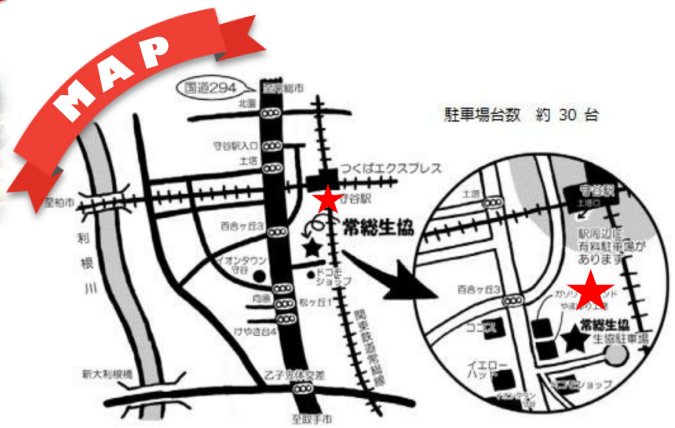
新鮮野菜や手作り雑貨の販売、フリーマーケットetc... ちょっと早起きしてお気に入りを見つけたら来ませんか♪



フリマ出店者も募集中！  
右QRコードから申込み  
できます→



**みんなで作ろう！おいしい「豚汁」**  
生協でも毎年職員が手作りしている「味噌」。今回の朝市では、そんな手作り味噌を使った豚汁を作ります。参加する皆さんの手作り味噌の持ち込みも大歓迎♪  
「わが家の味噌を使ってよ！」という人は当日10:00に手前味噌持参でじょうそう朝市へお越しください。  
※豚汁はなくなり次第終了となりますのでご了承ください。



～今後の開催日程～  
 ・2017年5月13日 (土) 9:00~12:00 (予定)  
 ・2017年6月3日 (土) 9:00~12:00 (予定)  
 ・2017年7月1日 (土) 9:00~12:00 (予定)  
 ※開催日程は変更になる場合があります。最新の情報は常総生協のHPからご確認ください

◆主催：「じょうそう朝市&フリーマーケット」実行委員会